小型車両活用デマンド交通 「かつライド」の実証運行について

- 1. かつライドの実証運行における運行実施計画(案)の概要
- 2. 利用者負担額と葛飾区負担額の関係について
- 3. かつライドの利用方法のイメージ
- 4. かつライドの周知について
- 5. 運行事業者の募集
- 6. 実証運行の評価方法
- 7. 運行実施計画の見直し検討
- 8. 今後のスケジュール(予定)

1. かつライドの実証運行における運行実施計画(案)の概要

事業呼称

かつライド

期間

令和7年10月から令和9年3月まで

運行方式

対象区域内の自宅などと乗降スポット間の移動

対象区域

西亀有1~3丁目、堀切8丁目

乗降スポット

27箇所 (鉄道駅、医療施設、商業施設、公共施設、バス停)

利用対象者

だれでも(登録不要)

利用者負担額

500円/1回

運行日 配車受付時間

月~土曜日(日・祝日を除く)の9時から17時まで

運行車両

通常営業中のタクシー車両

運行事業者

募集中(募集期間:令和7年7月31日まで)

利用方法

アプリまたは電話で配車(迎車)を依頼し、タクシー乗車時に利用者が「利用申込書」をドライバーに提出する。目的地到着後、500円の利用者負担額を支払う。(イメージは5ページ目で説明)

★乗降スポット



■利用者負担額と葛飾区負担額の関係について

例)対象地域の自宅から亀有駅への利用:運賃1,200円(迎車料金含む)場合

葛飾区負担額

利用者負担額 500円 運賃差額 700円

運賃(迎車料金含む):1,200円/回

※手数料を別途負担予定

ステップ - 1 利用申込書に記入

- ① <u>乗車スポットの選択</u> 【西亀有1丁目】にチェックし、 自宅住所(〇番〇号)を記入
- ② 行きの⇒矢印をチェック
- ③<u>降車スポットの選択</u> 【亀有駅】にチェックを入れる。



利用申込書の配布場所は、乗降 スポットとなる施設などを予定

ステップ - 2 配車(迎車)依頼

タクシーグループのアプリに 乗車スポット(住所)を入力



もしくは

タクシーグループの配車セン ターに電話し、乗車スポット (住所)を告げる。



ステップ - 3 タクシーに乗車

タクシーに乗車時に、利用申 込書をドライバーに提出





ドライバーが「かつライド」 の利用、降車スポットの確認 を行い、亀有駅へ出発

ステップ - 4 到着・支払い

亀有駅に到着後、500円を 支払い降車する。





支払方法については、 運行事業者と調整を行う。

※利用申込書は次ページで説明

3. かつライドの利用方法のイメージ

■利用申込書 イメージ

サイズ:A4(両面・縦)/枚





表面

裏面

- ■利用申込書の配布方法 ※配布時はA3横サイズ(A4の2枚つづり、中心ミシン目による切取りができるもの)
 - (1) 事業開始までに、対象地域内にポスティング
 - (2) 各施設と協議の上、ラック等を設置し配布(自由持ち帰り式)
 - (3) 区公式ホームページに掲出(ダウンロード・印刷し使用)

4. かつライドの周知について

■リーフレットの配布 ※デザインはイメージ



- ・利用方法や注意事項等を記載
- ・西亀有エリアを対象に全戸配布予定(9月)
- ・各施設に配架予定(協議中)

■説明会の実施



- ・西亀有エリアの自治町会及び民生委員を対象に 事業概要説明会を実施(7月)
- ・かつライドの利用方法や注意事項等についての 説明会を実施予定(9月)

■ポスターの掲示 ※デザインはイメージ



各施設や町内掲示板に掲示予定(協議中)

■その他

- ・広報かつしか
- ・自治町会回覧
- SNS(Line \ Twitter\ Facebook)
- ・葛飾区ホームページ 等

5. 運行事業者の募集

■運行事業者

※複数のタクシー会社に対し、1つの電話番号、 アプリによって配車(迎車)対応できる事業者組合など

6月27日から7月31日まで運行事業者(タクシーグループ※)を募集中 (葛飾区ホームページに事業概要、募集要件、協定書(案)、提出書類様式を掲出)

周知方法

(一社) 東京ハイヤー・タクシー協会等の団体を通じてタクシーグループに周知

■募集要件

- 1. 配車アプリ及びコールセンターを通じて自らのグループに属する全てのタクシーを配車 可能であること
- 2. 配車アプリで自らのタクシーグループを指定できること
- 3. 配車アプリ及びコールセンターから配車指示を受ける可能性があるすべてのドライバー が事業内容を理解し、利用者対応を行うことができること
- 4. その他協定書(案)の内容に合意できること

決定方法

募集要件に合致する応募事業者を実証運行の運行事業者とする

6. 実証運行の評価方法

■評価の考え方

- •実証運行期間中は、評価指標をもとに分析や検証を行い、評価を行う。
- •評価は、実証運行期間中の中間評価2回、最終評価1回の計3回を予定している。

	評価指標	分析・検証方法						
指標1	1日の平均利用件数が20件以上あること。	利用申込書を集計						
指標2	周辺の路線バスに与える影響が小さいこと。	対象区域周辺バス停の乗客数を実証運行前後で比較						
指標3	利用者の移動利便性が向上していること。	利用申込書に付属の利用者アンケートを集計						
指標4	利用者の総合的な満足度が高いと判断されること。	利用申込書に付属の利用者アンケートを集計						
指標5	1 つ以上のタクシーグループの協力があること。	ヒアリングによる継続意向の確認						

■事業継続の考え方

- ・中間評価では、各指標の達成状況に応じて改善策を実施(**運行実施計画の見直し**)し、 実証運行を継続する。
- ・最終評価では、各評価指標の達成を目標とし、達成度合や傾向を勘案した上で、本格運行 への移行について判断を行う。

7. 運行実施計画の見直し検討(中間評価)

■住民アンケートの実施

- •「かつライド」の認知度や利用意向、実証運行の課題などを把握するため、令和7年12月 を目途に住民アンケート(無作為抽出)を実施する。
- ・アンケート結果により、主に利用しない区民の声を分析、検証し、必要に応じて運行実施 計画の見直しを検討する。

■かつライド運行事業者(タクシーグループ)への協議

本事業の運行に協力しているタクシーグループに対し、かつライドにおいての現状課題や改善点などについて協議する。

■バス事業者への協議

本事業の運行実施に伴い、周辺の路線バスに与える影響について、バスの利用状況の分析、検証結果を基に、バスの利用においての現状課題や改善点などについて協議する。

実証運行を継続しながら、上記の結果を整理し、区民の移動需要を踏まえ、利用者、 バス事業者、タクシー事業者にとって持続可能な運行実施計画を目指していく。

8. 今後のスケジュール(予定)

令和7年度	4	5	6	7	8	9	1 0	11	12	1	2	3
事前準備(周知等)			事業	概要周知	利月	月方法周第 ◆	印、利用	申込書面	2布等		見直	10周知
実証運行					*				実証運	行①		
利用者調査等			(タ		事業者の ループとの	決定 の協定締結	(住月	ミアンケ	 ト		
見直し検討 (バス事業者及びかつライドの 運行事業者との協議含む)										見直し村	食討	
事業評価											中間 ①	
法定協議会				0			0					0
令和8年度	4	5	6	7	8	9	10	1 1	1 2	1	2	3
事前準備(周知等) 見	直し周知 ────			(見	直し周知	1)			見	直し周知	П	
実証運行	第	[証運行	2		\longrightarrow	実証運	行③				実証運	行 4
利用者調査等						住民アン	ノケート			,	,	
見直し検討 (バス事業者及びかつライドの 運行事業者との協議含む)			(見直し	·検討) 			見直し	検討				
事業評価				中間 ②				最終 評価				
法定協議会				0				0			0	
継続判断									♦			